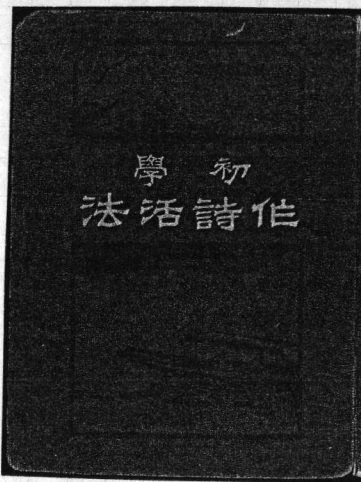


土居香國 香國 漢詩人。嘉永二年八月十八日土佐國生れ、大正十年十一月十二日歿（一八五〇—一九二二）。講通豫、字子順、幼名寅太郎、通稱亮爾、龍輔。別號如痴道人、拂珊釣客、梅客、梅枝吟館主、醉夢道人、鉛錘漁郎、香國花史、香國華御史、鴛鴦山人、十拜香園、土居豫、土順、豫等。與宮田清齋塾、藩費致道館等ノ學ニ。維新後官吏となり各地を歴任、傍ら英語・法律を修める。夙に詩を能くし、在官中詩名を高めた。退官後隨鷗吟社主幹、機關誌『隨鷗集』編輯に從事。

著者譯書 『通俗人間世渡リノ自叙』（土居通豫名、明治十五年六月大阪・柳原積玉圃）、『文學會教科書』全二冊（同、卷之上・明治十八年四月五日、卷之中・五月五日、卷之下・六月五日大阪。吉東次武刊）、ヤール、ダブリウ、チヤルチ著 『歐洲正氣論』（同、宮川經耀共譯、明治十八年六月米國聖教科書類會社）、『文法指南』全二冊（香國散史名、明治十九年四月大阪・青木嵩山堂）、『初學作詩活法』（明治二十八年八月、二十四日博文館）、



初學作詩活法 土居香國述



『初學作詩活法續編』（明治四十一年二月）二十八日博文館）、『情聲詩存』（合著・結城善堂編輯、井上馨山編輯、大正四年二月二十八日結城琢竹）、『自乘七種一附錄南省小稿』（土居通豫名、石崎政沈評點、大正八年七月二日濱田活三編）、

『征露篇—附録十律』 (同、<sup>森</sup>大來、<sup>依田</sup>海峯點、大正九年七月二日濟田治

二編)等。